

## 学内外の連携先

- ・ オミックス共用ユニット
- ・ マテリアルサイエンス共用ユニット
- ・ 新潟大学刈羽村先端農業バイオ研究センター(KAAB)
- ・ 地域連携フードサイエンスセンター
- ・ 他研究機関, 県試験場, 企業等
- ・ 国際共同研究先の研究機関

## 新潟大学・研究推進機構

共用設備基盤センター(統括部局)

先端共用委員会:統括部局+各研究ユニット

管理・運営: **ケミカルバイオロジー共用委員会**

研究分野: 化学的手法で生命現象を明らかにする学問分野

構成組織: 農学部, 理学部(生物学P), 工学部(化シスP), 自然科学研究科, 医歯学系, 超域学術院

連携

大学連携研究  
設備ネットワーク

## ケミカルバイオロジー共用システム

設備再整備・OFaRS登録・課金, 利用規程・マニュアル整備



高分解能質量分析システム(GC/MS, LC/MS)



ハイブリッド型LC/MSn  
質量分析装置(LC/MSn)



生体系動的解析システム(NMR)

## 小規模設備共用システム

共焦点レーザー顕微鏡システム, 原子吸光光度計, 超純水製造装置など小規模設備→70台を目標に共用化。

## オープンラボスペース

スペース整備/研究立ち上げに必須のクリーンベンチ, ドラフト, 分光光度計, 遠心器等 →33台を目標に集約化。

利用・解析支援

ワークショップ

マニュアル整備

機器管理

課金業務

技術支援員  
事務補佐員



## 特徴的な取り組み

- ・ 小規模設備共用化とオープンラボスペースの整備・設備集約による移籍直後の若手, 短期滞在研究者の支援。
- ・ 英語マニュアル・規程整備による外国人研究者支援
- ・ Web開設による情報アクセスの簡素化, 利便性向上
- ・ ワンストップ相談窓口による研究サポートの強化
- ・ FDおよびワークショップ開催による情報・技術共有

## 効果

## ケミカルバイオロジー研究・異分野融合研究の推進

- ・ 人材育成(技術専門職の養成)
- ・ 国際共同研究推進の強化
- ・ 人材育成(若手研究者・学生)
- ・ 産学連携とイノベーション促進
- ・ 地域研究拠点・国際教育研究拠点としてのプラットフォーム化

## 水平展開

- ・ 他分野における新たな研究ユニット創成
- ・ 新潟大学産学連携協力会